

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和地域活性化事業							事業コード	020110130312					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132					
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所					所属長	支所長 井上 浩人						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	85	頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	－													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	三和ふれあいフェスティバルは、三和地域最大のイベントとして地元団体等で構成される実行委員会が企画、運営し、住民が主体的に参加する手作りイベントである。屋外模擬店や農林産物品評会・販売のほか、作品展示、舞台発表など生涯学習の発表の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させるイベントとなっており、また、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。					
対象者	三和地域の市民及び一般参加者		対象者数	4,500	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,050		950		950		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		1,050		950		950		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	1,050		950		950		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 503										
	② 配当予算	1,050		447										
	③ 執行額	412		447										
	④ 執行率	39.2%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.30	/	0.01	0.22	/	0.18	/						
	② 概算人件費	2,428		2,264										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,840		2,711										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	三和地域活性化事業基金繰入(地域振興基金)		種類	基金繰入金		実績金額	447		決算附属資料	37		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	来場者数	人	中止	/	4500	1000	/	4500	2500	/	2000
	延べ参加団体数	団体	中止	/	65	44	/	65	64	/	65
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	実行委員会開催回数	回	1	/	9	4	/	5	4	/	5
	単位あたりコスト		0.0		103.0		111.8				
	単位あたりコスト		/		1		/		/		三和地域活性化事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・令和5年11月11日、12日に開催した三和ふれあいフェスティバルについては、子どもから高齢者まで幅広い参加があり、文化的活動の発表の場として、また自主運営による手作りのイベントとして、地域の活性化と交流につながる重要な事業である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・令和5年度の三和ふれあいフェスティバルについては、例年会場として使用していた三和荘が改修工事のため、使用できなかったことにより、三和支所近辺と三和学園の2会場による分散開催とした。初めての試みであったが、例年と同等のコストで混乱なく、かつ来場者数を倍増させ、効果的に実施することができた。 ・持続的な開催をすべく、令和4年度より、三和地域の住民から寄付金を募っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・三和ふれあいフェスティバルは、三和地域の人口が減少するなかで、農産物の品評会、文化活動の発表の場を提供するもので、実行委員会では、これまでと同様の来場者を達成すべく、駐車場や人員の確保等の諸課題に取り組まれている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・三和ふれあいフェスティバルは、三和地域外からも多数の参加がある三和地域における最大のイベントである。住民が主体のイベントで、地元団体等で構成される実行委員会が運営する。事務局は三和地域協議会。昭和40年代の三和町時代の農林業祭からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び農林産物品評会・販売、各種啓発の場となっている。 ・当地域の人口減、高齢化が進行する中で模擬店の出店、文化活動の発表の場を求める人やグループ、多様化する活動内容の受け皿として、地域の自主運営を基底にした参加型イベントとして定着している。 ・令和5年度は、三和荘改修工事により、三和荘での開催が出来なかったが、三和支所周辺と三和学園の2会場により実施した。会場間の連絡を密に行い、各駐車場等の連携をスムーズに行うことで、滞りなく実施することができた。 ・将来的に人口の減少、高齢化の進行が予想されることから、自治組織や団体の弱体化、人材不足に伴うイベントそのものの存続が危惧される。 ・駐車場として活用していた「アネックス京都三和の区画」が売却され、新たな駐車場が必要であるため、三和荘グラウンドを活用を検討する。 ・本イベントが地域の活性化に繋げられるよう意識し、地域自体が主体性を持って運営する持続可能な内容を検討していく必要がある。		
改 善 策	・三和ふれあいフェスティバルについては、実行委員会を中心に地域住民で作り上げる、三和地域の交流促進、地域活力の向上のための最も重要なイベントであり、引き続き住民などから寄付金を募るなど、住民が一丸となって存続を図る。 ・実行委員会において、事務局を中心に現状の諸課題について積極的に検証することで、持続的な実施方法を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)	☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

(単位：千円)

| 事業属性

事業名	地域振興センター管理事業										事業コード	020110130205				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち						政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充							
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得								施策コード	132					
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所						所属長	神内 明宏							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	84		頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	ー				R6現在の状況		継続中		
根拠法令等	ー															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設の特徴を活かし、大江地域を訪れる方々へ大江地域の魅力を発信する施設としての機能を高める。				
対象者	大江駅利用者	対象者数	34,244	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()				
委託先・実施主体等	(一社)福知山地域振興社、アムス・セキュリティサービス(株)、オニテック				
事業概要 (簡条書き)	・地域振興センター施設内の警備を業務委託により実施する。 ・地域振興センター施設内の清掃、周辺の除草を業務委託により実施する。 ・地域振興センターの光熱水費を支出し、施設の機能を維持する。				
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容		
	需用費	762	光熱水費(電気料、上下水道料) 施設修繕料(トイレ修繕)		
	役務費	66	手数料(ごみ処理手数料) 保険料(建物共済分担金)		
	委託料	981	維持管理業務(警備業務 施設清掃業務 施設維持管理業務)		
	備品購入費	17	施設備品		

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,835		1,960		1,951		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		1,835		1,960		1,951		0		
予算財源内訳	① 一般財源	1,325		1,442		1,433		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	510		518		518		0		
決算情報	① 流充用額	41		△ 134						
	② 配当予算	1,876		1,826						
	③ 執行額	1,876		1,826						
	④ 執行率	100.0%		100.0%						
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.18	/	0.00	0.10	/	0.00	/		
	② 概算人件費	1,440		800						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,316		2,626						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	自動販売機設置貸付収入(大江支所)	種類	財産貸付収入	実績金額	210	決算附属資料	32	頁
			大江町地域振興センター自販機電気代		雑入		19		44	
			地域振興センター占有者負担金		雑入		216		47	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	大江駅乗降者数	人	23679 / 50000	34244 / 50000	38678 / 50000	/ 50000	50000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	大江駅周辺イベント回数	回	0 / 3	0 / 3	1 / 3	/ 3	3
		単位あたりコスト	0.0	0.0	0.0		
			/	3 /	/	/地域振興センター管理事業	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設であり、(一社)福知山地域振興社及び福知山市商工会の業務により、大江地域を訪れる方々にきめ細やかな対応が期待できる施設である。当施設の維持管理経費である水道代、電気代等を支出するもので、必要性が高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	施設を維持管理する水道代、電気代等の費用を(一社)福知山地域振興社及び福知山市商工会に占用割合に応じた施設管理費を負担をしていただいているため、効率的に事業を実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	施設を良好な環境に保つことで、好印象を与え、大江駅の利用者や観光客が増加し、大江地域の観光等の産業の発展につながることを期待できるため、有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	大江地域を訪れる方々に、きめ細やかな対応ができていることから、現在の事業規模で継続的に実施する。 当施設は、京都丹後鉄道大江駅の機能を有するため、不可欠な施設である。 関係課及び関係団体と連携し、大江地域の玄関口としての賑わいの創出と京都丹後鉄道の利用を増加させる施策を実施していくためのインフラ事業として継続する必要がある。 前年度に比べ大江駅乗降者数も増加し、また新型コロナにより中止になったイベントも再開され、賑わいの創出に繋がっている。 空調機の不調など、施設の老朽化に対する対策が必要である。		
改 善 策	施設の維持管理を継続するためにも、空調機など、老朽化に対する対策を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

(単位：千円)

| 事業属性

事業名	ホームページ運営事業							事業コード	020102820107							
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充								
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132							
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	横山 美和子								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	02 文書広報費		会計	01 一般会計		決算附属資料	67		頁
計画期間	開始年度	平成13年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第6次福知山市行政改革実施計画					R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

二 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市のリアルタイムな情報を発信し、市民サービスを充実するとともに、本市の魅力を広くPRする。さらには、災害など有事の際に、迅速、的確な情報を伝えることで、市民の安心・安全なくらしを確保する。					
対象者	市民・不特定多数の人々		対象者数	-	単位あたりコスト	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	福泉(株)					
事業概要 (箇条書き)	・各担当課によるホームページの更新 ・新型コロナウイルス感染症関連情報の迅速・適切な発信 ・LINE、フェイスブック、インスタグラム、ツイッター、noteによる情報発信					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容			
	役務費	73	SNS更新用タブレットの通信費			
	委託料	4,301	京都府セキュリティクラウド更新に伴う改修、ホームページ運営保守管理業務			

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,155		4,654		915		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		1,155		4,654		915		0		
予算財源内訳	① 一般財源	435		3,926		187		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	720		728		728		0		
決算情報	① 流充用額	△ 195		△ 77						
	② 配当予算	960		4,577						
	③ 執行額	854		4,374						
	④ 執行率	89.0%		95.6%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.38 / 0.00		0.58 / 0.00		/		/		
	② 概算人件費	3,040		4,640						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,894		9,014						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	ホームページ広告料	種類	雑入	実績金額	177	決算附属資料	43	頁
			ホームページ保守業務負担金		雑入		89		49	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標		単位	R3	R4	R5	R6		最終目標
	アクセス件数(月平均)		件	445922 / 150000	250804 / 150000	165291 / 300000		/ 300000	300000
				/	/	/		/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標		単位	R3	R4	R5	R6		最終目標
	掲載件数		件	2546 / 900	2378 / 900	2231 / 2700		/ 2700	3000
		単位あたりコスト		0.3	0.4	2.0			
				/	5 /	/		/	ホームページ運営事業
		単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の実施事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	- 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か - 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か - 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	本市の情報・魅力を全国発信した。 災害発生など緊急時には、迅速、的確に情報を市民に伝えた。	☒ 高い
効 率 性	- 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か - 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか - コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	専門的な保守点検管理業務を委託することで、システム障害の回避や常時の動作確認、新コンテンツの作成にかかる人件費を抑制した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	- 成果目標は理にかなう、実績は適切に把握・測定されているか - 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか - 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	各所属がホームページを更新する運営体制により、タイムリーに市政情報を広く発信した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	平成31年2月28日にホームページをリニューアルし、今まで以上に利用者の利便性向上と事務の効率化を図り、広く市内外に本市の情報発信できる環境を整備した。また、災害時には専用のトップページに切り替え、アクセスが集中しても継続して情報発信することが可能となった。令和元年度において、各担当課がホームページを作成し、秘書広報課で管理等を行いながら、的確な情報発信に努めている。また、ホームページリニューアル時に、議会事務局、市民病院、上下水道部のHPを市HPに統合、さらに令和元年度において消防のHPを統合することで、経費の削減を図った。令和5年度においては、市民が求める情報をホームページを中心に各SNSも活用し、迅速、的確に発信することができた、広報研修を積み重ね、各担当職員が多様な情報発信を行う基礎を築いた。課題は、全職員がホームページの更新をはじめとする効果的な広報のタイミング、広報手段を理解することが求められること、各SNSの活用が進むにつれ、ホームページのアクセス数は減少傾向にあること。		
改 善 策	インターネット上での福知山市の顔となるホームページは、魅力的で、見やすく、分かりやすい、更にはリアルタイムで情報の更新を行っていくことが重要であることから、市職員全てが情報発信者である意識を持ち、効果的に情報発信するために、職員PR研修等により継続的に学ぶ機会を設ける。また、ホームページだけでなく、各種SNS、アプリを用いた情報発信を充実させるため、各部、課毎のSNS運用も拡大し、市民のニーズに対応した運営を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	姉妹都市交流促進事業							事業コード	020112130112					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充							
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得					施策コード	132						
事業担当	所 属	03020000 市長公室 秘書広報課				所属長	横山 美和子							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	12 諸費		会計	01 一般会計	決算附属資料	93	頁
計画期間	開始年度	昭和58年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	-													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	島原市と行政間だけでなく、市民ぐるみで、人・物・文化などの交流を促進し、相互理解や友好の絆を深める				
対象者	福知山市民・島原市民	対象者数	118,326	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	182		182		415		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		182		182		415		0						
予算財源内訳	① 一般財源	182		182		415		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 88										
	② 配当予算	182		94										
	③ 執行額	70		87										
	④ 執行率	38.5%		92.6%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.08	/	0.00	0.05	/	0.25	/						
	② 概算人件費	640		1,100										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		710		1,187										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	物産展等来場者	人	0	/	3000	1000	/	3000	2000	/	3000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	物産展等の開催	回	1	/	2	2	/	2	3	/	3
		単位あたりコスト	0.0		35.0		29.0				
			/		7		/		/		姉妹都市交流促進事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	FMLまばらでの「姉妹都市からこんにちは 福知山だより」コーナーで、福知山を紹介 島原城新能会場で姉妹都市物産展の実施 第31回福知山マラソン大会で「島原物産展」を実施 姉妹都市提携記念日において「島原パネル展」を実施 島原市と昭和58年3月に結んだ姉妹都市提携に基づき、相互理解や交流を通じて友好を深めていく必要がある。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	本市で実施しているイベントや島原市と連携して事業を行うことで、広報など実施に係るコストを削減するとともに、市民だけでなく市外の方の参加を促し、事業の活性化や関心を持ってもらう機会につなげるなど効率化を図った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	イベントなどを通じて、姉妹都市・島原市のことを知っていただく機会になるだけでなく、福知山市民の島原市への愛着や友好の深まりを感じることができた。 また、島原市で物産展をすることで、島原市民の福知山に対する愛着や交流の深さを肌で感じることもできた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・島原庁舎での姉妹都市提携記念パネル展から、FMLまばらとのつながりができ、福知山市や姉妹都市提携のPRにつながった。 ・島原市で物産展を行ったことで、島原市民に直接PRでき、またこれまでの交流の絆を感じることができ、今後も交流を続けていく必要性を感じることができた。 ・福知山マラソン物産展では、島原市からも来福いただき、販売にも携わっていただくことで島原市のPRや姉妹都市であることの周知につながった。 ・多くの世代に姉妹都市島原市のことを知ってもらい、今後も友好の絆を深めていけるような取組を行う必要がある。		
改 善 策	引き続き、島原市と連携し、広報誌やSNSなどを活用して相互の魅力を発信することで、相互理解や市民の関心を高め、姉妹都市への愛着につなげる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	姉妹都市友好親善市民交流事業							事業コード	020112130113					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充							
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132					
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課				所属長	横山 美和子							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	12 諸費		会計	01 一般会計	決算附属資料	93・94	頁
計画期間	開始年度	平成10年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-		R6現在の状況		廃止/休止		
根拠法令等	-													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	姉妹都市島原市と市民ぐるみで、交流し、相互理解や友好を深めるとともに、島原市民にも福知山市をPRする。				
対象者	福知山市民・島原市民	対象者数	118,326	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予 算 情 報	① 当初予算	0		2,415		0		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		0		2,415		0		0		
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		2,415		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決 算 情 報	① 流充用額	0		88						
	② 配当予算	0		2,503						
	③ 執行額	0		2,503						
	④ 執行率	0.0%		100.0%						
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.00 / 0.00		0.45 / 0.02		/		/		
	② 概算人件費	0		3,656						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		6,159						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	歓迎会・交流会等参加人数	人	0 / 0	0 / 0	550 / 550	/ -	-
			/	/	/	/ -	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	市民への周知	回	0 / 0	0 / 0	5 / 4	/ -	-
	単位あたりコスト		0.0		500.6		
	単位あたりコスト		/	9 /	/	姉妹都市友好親善市民交流事業	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	- 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か - 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か - 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・11/4,5姉妹都市提携40周年を記念し、島原市友好親善訪問団(106名)が来福され、歓迎会や市民親善交流会を実施した。 ・島原市と昭和58年3月に結んだ姉妹都市提携に基づき、相互理解や交流を通じて友好を深めていく必要がある。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・福知山市・島原市の姉妹都市提携と同じく40周年を迎えた、福知山青年会議所・島原青年会議所の姉妹JC提携と共催で記念式典を実施することで、市民への事業周知などを効果的に行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・姉妹都市・島原市のことを知っていただく機会になるだけでなく、福知山市民の島原市への愛着や友好の深まりを感じることができた。 ・5年ごとにお互いの市を訪問することで、友好の輪を次の世代へとつないでいくことができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・青年会議所の40周年記念とあわせて実施したことで、これまで参加が少なかった世代にも広く参加を呼びかけることができた。 ・交流会は、会場の規模もあり参加人数が限られてしまうが、交流を深めることで、姉妹都市島原市への愛着、友好の輪が次の世代へとつながっていくことを実感できる機会となった。 ・多くの市民に姉妹都市島原市を知っていただく機会にはなっているが、さらに関心をもってもらい、友好の輪を広げるために継続した取組を進めていく必要がある。		
改 善 策	・友好親善交流事業については、5年ごとに互いの市を訪問しており、令和10年度に本市が島原市を訪問し、令和15年度に今回と同様に島原市から福知山市に訪問団が来られることになる。そのため、記念事業を実施しない年は、友好親善交流事業は予算計上せず、姉妹都市交流促進事業において、多くの世代に姉妹都市島原市のことを知ってもらい、友好の絆を深めていけるような取組を継続して行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ふくちやまサポーター拡大事業										事業コード	020112810560			
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち						政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得								施策コード	132				
事業担当	所 属	03020000 市長公室 秘書広報課						所属長	横山 美和子						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	12 諸費		会計	01 一般会計		決算附属資料	94・95	頁
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R6現在の状況		継続中		
根拠法令等	地方税法等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	人口減少や都市圏への人口集中が加速するなか、市民の力や市外の方の力を活かしたまちづくりを進めていくため、多様な形で関わっていただく方々(関係人口)を増やすことが重要となっている。そこで関係人口の拡大を進めるため、地域の魅力やふるさと納税などの情報を発信して、福知山市に魅力を感じ、継続的に応援してくださる方々の拡大を図る。				
対象者	市外居住者		対象者数	-	単位あたりコスト
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)									
予算情報	① 当初予算	475,421		620,618		465,332		0									
	② 補正予算	76,976		0		0		0									
	③ 繰越予算	0		0		0		0									
	前年度繰越	0		0		0											
	次年度繰越	0		0													
小計(①～③)		552,397		620,618		465,332		0									
予算財源内訳	① 一般財源	180,622		228,242		36,291		0									
	② 国支出金	0		0		0		0									
	③ 府支出金	0		0		0		0									
	④ 地方債	0		0		0		0									
	⑤ その他特財	371,775		392,376		429,041		0									
決算情報	① 流充用額	0		△ 112,748													
	② 配当予算	552,397		507,870													
	③ 執行額	530,358		451,267													
	④ 執行率	96.0%		88.9%													
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.93	/	1.15	0.79	/	0.85	/									
	② 概算人件費	10,660		8,700													
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		541,018		459,967													
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山市ふるさと納税寄附金		種類	総務費指定寄附金		297,835		34	頁						
			ふくちやまサポーター拡大事業基金繰入(ふるさと納税基金)			基金繰入金		実績金額				1,176		決算附属資料		40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数	人	3208	/	3200	3470	/	3300	3655	/	3700
	ふるさと納税額目標達成率	%	166.9	/	100	110	/	100	76	/	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	ふるさと納税サイト活用件数	件	5	/	3	6	/	3	12	/	6
	単位あたりコスト		96007.4		88393.0		37605.6				
	会員募集に関する情報提供回数	回	12	/	10	11 ¹⁰	/	10	10	/	10
	単位あたりコスト		40003.1		53035.8		45126.7				

ふくちやまサポーター拡大事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	総務省によると、2022年度のふるさと納税での寄附額は前年度比1.2倍の9,654億円となり、市民、社会のニーズが高いことが明確である。 人口減少期に重要となる関係人口拡大に向けた取り組みとして、ふるさと納税制度も活用しながら、福知山を応援していただける「いがいと！福知山ファンクラブ」会員を増やすことは必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	多くの方々(令和5年度寄附件数:14,866件)からの寄附に関連する事務(寄附収納、返礼品送付、寄附者窓口対応、返礼品提供事業者との連携など)を民間業者に業務委託した。 また、ふるさと納税寄附者に「いがいと！福知山ファンクラブ」会員加入の案内を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	ふるさと納税で福知山に寄附いただいた方々(寄附件数:約20,584件)に、「いがいと！福知山ファンクラブ」入会案内を送付した。 寄附受付サイト上での返礼品の見せ方に工夫を凝らし返礼品を通して本市や事業所を知ってもらえる情報発信を行っている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	ふるさと納税では、平成28年度に民間事業者(さとふる)の活用により寄附者がアクセスしやすい環境整備をしたことで寄附件数、寄附額とも一定数を確保できている。令和5年度では、寄附者がアクセスしやすい環境を構築したが(委託業者の見直し:令和5年度より実施)、総務省のルール改正、主力返礼品の企画終了などの要因により、前年度割れ約3億の寄附額であった。 企業版ふるさと納税では、企業訪問等により、平成29・30年度で1社から、令和元年度で2社、令和2年度で1社、令和3年度で3社、令和4年度で5社、令和5年度で6社からの寄附実績があった。 「いがいと！福知山ファンクラブ」会員について、令和元年度より新たに福知山の魅力が描かれたオリジナル会員証を発行している。令和5年度では、会員が3,655人と増加し、多くの方に福知山の魅力を発信し、良い関係構築に努めている。 このように前年度割れしたものの3億円の寄附額を集めたこと、また、「いがいと！福知山ファンクラブ」会員が増加したことは、評価できる。 課題としては、ふるさと納税制度に注力する自治体が増え、競争が激化しており、今まで以上に魅力的な返礼品を開発するなど、事業に対し戦略的な取り組みの強化が求められている。		
改 善 策	ふるさと納税での自治体間競争に対応するため、新たな返礼品の開拓、定期便や体験型返礼品の開拓、また新たなサイト追加などにより寄附確保の体制を強化するとともに、継続的に福知山市を応援いただける関係人口の増加に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	福知山PR戦略総合推進事業							事業コード	020112820134							
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充									
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132							
事業担当	所 属	03020000 市長公室 秘書広報課				所属長	横山 美和子									
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	12 諸費		会計	01 一般会計		決算附属資料	95		頁
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R6現在の状況		継続中		
根拠法令等	－															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の地域ブランドを高め、福知山ファンを増やすため、ふるさと納税寄附者やイベント参加者といった接点のある人にファンクラブへの加入を促進するなど、継続的で多様な関係性を築くことが重要となっている。 将来に向けて、市外の「福知山ファン」や市民がまちづくりの担い手や応援者となることを目的に、引き続き情報発信などのコミュニケーション活動を通じて、関係人口(多様な形で地域に関わる市外の人々)の拡大や市民のシビックプライドの醸成に取り組む。					
対象者	市内外の人々		対象者数	—	単位あたりコスト	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予 算 情 報	① 当初予算	36,444		38,000		31,733		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		36,444		38,000		31,733		0		
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	17,218		18,777		15,850		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	19,226		19,223		15,883		0		
決 算 情 報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	36,444		38,000						
	③ 執行額	35,807		36,192						
	④ 執行率	98.3%		95.2%						
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.68	/	0.40	3.25	/	0.90	/		
	② 概算人件費	14,560		28,520						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		50,367		64,712						
主 な 利 用 特 財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山PR戦略総合推進事業(デジタル田園都市国家構想交付金)		種 類	総務費国庫補助金	実績金額	17,579	決算附属資料	15	頁
		福知山PR戦略総合推進事業基金繰入(ふるさと納税基金)			基金繰入金		17,379		40	
		物品売払収入(いがいと！ポロシャツ)			物品売払収入		651		33	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数	人	3208	/	3200	3470	/	3300	3655	/	3550
	mGAP市民の地域推奨意欲指数	%	-37.7	/	—	-30.5	/	-37	-33	/	-30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	プレスリリース配信(他事業含)	件	61	/	40	65	/	40	55	/	40
	単位あたりコスト		878.2		550.9		658.0				
	メディア記事掲載件数(Web転載含)	件	1597	/	800	1617	/	800	1950	/	800
		単位あたりコスト	42.4		19.7		18.6				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○光秀 … このまちで挑戦する人を応援する市民参加型企画「福知山の変」にて、前年度制作したポスター1種を発表。あらたにポスター3種を制作、うち1種をR5年度中に発表。閉館後の図書館という市の資産を初めて活用したイベント「ナイトライブラリー」に発展。本取組について、市内外で講演。 ○市PR力強化 … 本事業のみならず市が行う様々な事業のPR力を強化するため、プレスリリース55本を配信。うち33本は他課が制作したプレスリリースをブラッシュアップし、配信した。その他、他部署からのPR相談は100件以上にのぼる。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○財源構成 … 特定財源が99.1%。(国交付金48.6%、寄附金0.7%、グッズ収入1.8%、ふるさと納税基金48.0%) ○鬼文化PR事業／市PR力強化／光秀マインドプロジェクト … 公募型プロポーザルにより、最も評価の高い事業者を選定した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○鬼文化PR事業 … 本事業の集大成として、節分に向けて地域の様々な団体と共に新たな福豆を開発し、東京のメディア向けに発表会を開催。全国ネットのテレビを含む20媒体以上が出席。事業を通して約450件のメディア記事掲載。 ○市PR力強化 … 他事業(福知山鉄道館フクレル)の開館PRを担当。市民とともにメディア向け内覧会をつくりあげ、テレビ6社を含む17媒体が取材。フクレル全体で約300件のメディア記事掲載。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	【自己評価】R3からは、明智光秀主人公の大河ドラマ放送に伴うR2までの重点テーマ「明智光秀」を深化させる「まちづくりへの挑戦心＝光秀マインド」をコンセプトにしたPR活動と、「鬼」市役所・市全体のPR力向上」という三本柱のテーマで事業を展開。R5で3年目。業績指標や上記3項目の数値以外にも、様々な波及効果を生み出している。 ○ナイトライブラリーで「福知山の変」を深く知った参加者は、市民のシビックプライドを表す3指標が大幅上昇。地域推奨意欲 -14.0%(参加前)→54.7%(参加後) 地域活動感謝28.6%→78.8% 地域参加意欲2.1%→60.0%。 ○メディア記事掲載による広告換算額は、R3約10億円→R4約14.6億円→R5約14.7億円と高水準のまま増加。 ○R2～5の本事業での活動に対して、14アワードを受賞(R6年8月現在)。全国広報コンクール4年連続入選。R5は市内外講演・視察対応などでのノウハウ共有は20件(R4は9件)。市内中学校、自治体総合フェア、研修(JIAM)、書籍掲載など。 【現状の課題】①メディア記事掲載件数にとどまらず、その先の関係人口(多様な形で地域に関わる市外の人々)の拡大に結び付く取組の強化が必要。②他事業のプレスリリース添削・配信だけでなく、より全庁的にPR体制を強化し、戦略的なPRの展開が必要。		
改 善 策	①関係人口の創出をより推進するため、他部署や各種団体と連携を深めて情報発信を行うなど、福知山ファンとの関係構築のためのコミュニケーション活動に取り組む。 ②市の事業や資源について、大阪・関西万博等の好機を生かすPR活動に関係部署と連携して取り組む。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止／休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)	☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大呂自然休養村管理事業								事業コード	060102220201				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132					
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課					所属長	小西 晴之						
会計情報	款	06 農林業費		項	01 農業費		目	02 農業総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	162	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和9年度		関連計画名	-			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例、同施行規則													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	指定管理者制度を導入し、民間ノウハウを活用することで施設の有効活用を図る。 適切に施設を運営することにより、豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図り、福知山ファンの獲得につなげる。				
対象者	施設利用者	対象者数	13,926	単位あたりコスト	2.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)								
予算情報	① 当初予算	5,047		21,121		8,428		0								
	② 補正予算	979		0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0										
	次年度繰越	0		0												
小計(①～③)		6,026		21,121		8,428		0								
予算財源内訳	① 一般財源	5,883		13,978		8,285		0								
	② 国支出金	0		0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0		0								
	④ 地方債	0		7,000		0		0								
	⑤ その他特財	143		143		143		0								
決算情報	① 流充用額	391		75												
	② 配当予算	6,417		21,196												
	③ 執行額	6,417		21,196												
	④ 執行率	100.0%		100.0%												
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.05	/	0.00	1.00	/	0.05	/								
	② 概算人件費	8,400		8,140												
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		14,817		29,336												
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	大呂自然休養村管理事業(辺地対策)		種類	農林業債		7,000		52		頁				
			電柱占用料(農政課)			農林使用料		実績金額		143			決算附属資料		8	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	宿泊者数	人	725	/	1840	1222	/	1930	1402	/	1400
	キャンプ場利用者数	人	1668	/	900	2667	/	1000	2811	/	2050
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	施設開館日数	日	226	/	311	315	/	311	315	/	311
	単位あたりコスト		36.7		20.4		67.3				
	単位あたりコスト		/		15		/		/		大呂自然休養村管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	地域にとって重要な拠点施設で、農村地域へ都市住民を誘客し、地域の活性化と福知山ファンの獲得につながることから、施設を存続させる必要性は高い。令和5年度から新たな指定管理者による指定管理期間が開始し、施設利用者や売上の増加を図る施設運営を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	指定管理者制度を採用し、宿泊観光施設という施設の特性上、市の直営ではできないサービスについて民間ノウハウを活用して提供することで、施設利用者の増加やコスト削減を図る施設運営を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	コロナ禍で落ち込んだ宿泊や宴会等に対する需要は徐々に回復傾向であり、積極的な自主事業の実施によってさらなる施設利用者の増加が図られ、福知山ファンの獲得に寄与している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	キャンプ場利用者数及び施設開館日数については目標を達成した。宿泊者数は過去最多の利用者数であり、宿泊者及びキャンプ場利用者の半数以上は市外からの利用であることから、事業目的に沿った施設運営ができています。さらなる施設利用者数の増加を図る取り組みの検討が課題となっている。		
改 善 策	アフターコロナにおける今後の施設運営について検討を行うとともに、より多くの人に施設を知ってもらうために、指定管理者と連携しながら市としても施設のPR強化を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--